Save the Children

セーブ・ザ・チルドレン ニュースレター
September 2017 No.71



特集 世界食料危機

子どもを誰ひとり飢えさせない。

© Edward Ahonobadha/Save the Children

水がない、食料がないー。
終わらない紛争と記録的な干ばつで、子どもたちが飢餓に直面しています。

国民の61%が食料支援が必要な状態に。
紛争の激化で物資輸送が困難に。コレラも急速に拡大。



イエメン
Yemen

紛争が3年以上続く中、干ばつが発生。
一部の地域が飢餓の最悪の状態「飢饉(ききん)」に。



南スーダン
South Sudan

7万人以上の子どもが重度の栄養不良で死の危機に。
ケニア
Kenya

850万人が食料支援が必要な状態に。
エチオピア
Ethiopia

100万人の子どもが紛争と暴力により避難。
45万人の子どもが重度の栄養不良の危機に。



ナイジェリア
Nigeria

国民の約半数が食料不足に苦しむ。
紛争と干ばつで100万人の子どもが栄養不良に。



ソマリア
Somalia

※数値は、国際機関などのデータをもとに2017年8月にセーブ・ザ・チルドレンがまとめたものです。

©Tommy Trenchard,Tim Muir,Colin Crowley,Rik Goverde/Save the Children

重度の急性栄養不良に陥ったマロエアさん(1歳)
ナイジェリアでセーブ・ザ・チルドレンが運営する保健センターで、母親の腕に抱かれているマロエアさん。腕の太さは11.5cmより細く、重度の急性栄養不良であることを示しています。親子が暮らしていた地域に紛争と暴力が広がり、日々の食料の確保もままならない中で避難生活を送っています。

特集 世界食料危機
子どもを誰ひとり飢えさせない。

干ばつや紛争により、今、大規模な食料危機が子どもたちの命を脅かしています。
東アフリカやイエメン、ナイジェリアにおいて、子ども140万人が飢餓の危機的な状況に直面。
子どもたちの状況と、皆さまのご支援のもと行っている緊急支援についてお伝えします。

食料危機から子どもの命を守る。セーブ・ザ・チルドレンの緊急支援


© Ali Alashwal/Save the Children

子どもの栄養状態を検査し、緊急支援が必要な子どもを特定。

緊急下で大勢の子どもたちの健康状態を迅速に判断するために、特別なメジャーを使い、腕の周囲を測定。11.5cm未満(赤色)で重度の栄養不良と判断されます。ソマリアでは、これまでに15万人以上の子どもの診断を行いました。



上腕の太さで栄養不良を判断するメジャー


© Sussan Akila/ Save the Children

専門の保健センターで治療を。また、学校で飲料水や給食を支援。

栄養不良と診断された子どもには、栄養治療食を提供するほか、専門の保健センターで治療を実施。また、学校で衛生的な飲み水や栄養価の高い給食を提供することで、栄養不良の拡大を食い止めます。


© Mustafa Saeed/Save the Children



ビタミン・ミネラルを多く含む栄養治療食。ピーナツバター風味。


© PEDRO ARMESTRE / Save the Children

生計を回復できるよう、長期的に子どもと家族を支える。

干ばつで水や飼料が不足し家畜を失うことで、収入源や食料源が断たれ、栄養不良になるケースが多くあります。家族の財産である家畜を守るために飼料の提供をするほか、小規模農家が干ばつへの対応能力を高められるよう支援しています。


© Stuart Sia/Save the Children

あなたの疑問にお答えします。

Q アフリカでは、いつも干ばつが起きていて、支援をしても何も変わらない気がします。食料の提供だけで解決になるのでしょうか。

A 確かにアフリカには、干ばつが起こりやすい地域があります。しかし、深刻な干ばつや食料危機に、これだけ多くの国が同時に見舞われるのは非常にまれです。

セーブ・ザ・チルドレンが過去の危機から学んだ最も重要なことは、迅速に支援を決断し行動に移すことです。

そして、緊急の食料支援だけでなく、家族が農業や牧畜による生計を回復し、技術支援などを通じて干ばつへの対応能力(レジリエンス)を高められるよう、課題の根本解決に向けた取り組みも行っています。


© Seifu Assegid/Save the Children

「もうおなかをすかせてないよ」エチオピアの小さな村に暮らす、ソフィアさん(写真右)のストーリー

“私はソフィア、小学2年生です。お父さんとお母さんは、牧畜の仕事をしています。去年、私たちの村には全然雨が降りませんでした。水や食べ物も、家畜にあげる草も足りなくなってしまいました。いつもおなかがすいていたけれど、学校で給食が出るようになって毎日が変わりました。



家畜の水やえさを求めて村を離れ、この学校の約半数の子どもが通学できなくなりました。



清潔な水もなく、休み時間に村まで飲み水を探しに行くこともありました。



セーブ・ザ・チルドレンが学校で給食の提供を開始。子どもの復学も支えています。



エチオピアで、ソフィアさんのような子ども1万人以上に支援を届けています。

九州北部豪雨 緊急支援
子どもたちの日常を取り戻す

「平成29年7月九州北部豪雨」被害状況

- 死者数 ／ 36人（福岡県33人、大分県3人）
- 行方不明者数 ／ 5人（福岡県）
- 家屋被害 ／ 全壊229件
  （福岡県朝倉市160件、東峰村24件、添田町1件、
  大分県日田市41件、中津市2件、豊後大野市1件）

2017年8月10日福岡県発表資料、2017年8月14日大分県発表資料より

7月5日から6日にかけて九州北部地方で発生した豪雨による大きな被害を受けて、セーブ・ザ・チルドレンは7月7日に緊急支援対応チームを被災地に派遣。特に被害の大きかった福岡県朝倉市杷木（はき）地区を中心に、子どもたちの状況や子ども支援のニーズを調査し、緊急支援を開始しました。

避難所で「こどもひろば」を実施

7月9日には、ニーズ調査を行った地域からの要請を受け、避難所となっている小学校で「こどもひろば」を実施。同年代の子どもたち同士が遊び、日常に近い生活を取り戻すことのできる空間を提供することで、子どものこころのケアの支援を行いました。

夏休みの子どもの居場所を支援

また、夏休みを予定より早く始めるという朝倉市の決定を受け、夏休み中の子どもたちの居場所の一つとなる、学童保育所への支援を開始しました。災害対応により新しい場所へ移転することとなった学童保育所に、エアコンやマット、冷蔵庫などの備品を提供し、子どもたちが安心・安全に過ごせる環境の整備に協力しました。さらに、8月19、20日には、朝倉市と東峰村で「ものづくりワークショップ」を開催。合計約80人の子どもたちが、イス作りやマイバッグ作りに取り組みました。被災によって夏休みの活動が限られる中、子どもらしい時間を過ごす機会を提供しました。


避難所の小学校で実施した「こどもひろば」


流れ込んだ大量の樹木



「ものづくりワークショップ」でイスを作る子どもたち

緊急下の子どものこころのケア

子どものための心理的応急処置
Psychological First Aid for Children (PFA for Children)

九州北部豪雨の被災地では、災害時にストレスを抱えた子どものこころを傷つけずに対応するための手法「子どものための心理的応急処置(子どものためのPFA)」を伝える活動も行いました。これは、「見る・聴く・つなぐ」を基本行動原則としたこころのケアの手法で、緊急時の子どもへの心理社会的支援としてセーブ・ザ・チルドレンが2013年に開発しました。

8月2日には、朝倉市からの依頼を受け、約140人の保育士や学童保育の支援員に「子どものための心理的応急処置」を伝える研修を実施。参加者からは、「言葉をあまり知らない子どもたちが、遊びを通してこころの回復をしていくことの大切さを実感しました」などの感想をいただきました。

見る
- 安全確認を行う。
- 緊急の対応を必要としている子どもがいないか探す。
- 深刻なストレスを抱えている子どもがいないか確認する。

聴く
- 支援が必要と思われる子どもに寄り添う。
- 子どもの今のニーズや心配事について尋ねる。
- 子どもの話に耳を傾け、気持ちを落ち着かせる手助けをする。

つなぐ
- 子どもと家族をつなぐ。さらなる支援が必要な子どもは専門家につなぐ。
- 衣・食・住・医療などの基本的なニーズに対し、適切な支援が受けられるようサポートする。
- 正確な情報を提供する。支援を約束した場合は必ずフォローアップを行う。

詳しくは http://www.savechildren.or.jp/lp/pfa/

子ども時代が終わるのはいつ？

一人暮らしを始めたとき？
恋人ができたとき？
運転免許を取ったとき？
あなたにとってはいつだったでしょう。
世界では、4人に1人の子どもが、
紛争や早すぎる結婚、
そして児童労働などで―
あまりにも早く子ども時代を終えています。

© CJ Clarke/Save the Children

すべての子どもに子ども時代を―

セーブ・ザ・チルドレンは、子どもたちの置かれている状況を分析し、報告書「奪われた子ども時代」を発表しました。その結果、世界の子どもの4人に1人にあたる、少なくとも7億人が、紛争や暴力、早すぎる結婚・出産、栄養不良、十分な保健サービスや教育を受けられないこと、そして児童労働などで子ども時代を奪われていることが分かりました。

子どもの栄養不良は、将来にわたる発育阻害や健康的なリスクにつながります。5歳未満で子どもが命を落とす原因の多くは、防げるものです。また、世界では、本来なら学校に通う年齢の子どもたち2億6,300万人が、学校に通えていません。これは、先進国の子どもの人口よりも多い数です。その中には、家計を助けるなどの理由で、児童労働に従事する子どもたちもいます。その数は、日本の5歳から17歳の子どもの人口[*1]の、およそ11.5倍にあたります。さらに、早すぎる結婚・出産も、子どもたちの生活や教育の機会を奪うことにつながっています。

世界の状況と比べると、日本の子どもの子ども時代は守られているように感じるかもしれません。

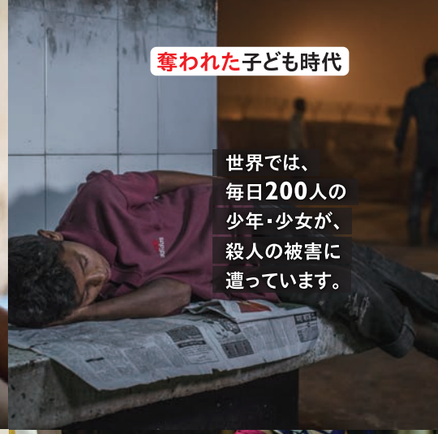
しかし、日本の子どもたちを取り巻く環境にも多くの課題があります。例えば、日本の子どもの貧困率[*2]は13.9%で、7人に1人が貧困の状態にあります。また、児童相談所の虐待相談対応件数は12万2,578件[*3]と、過去最多に。決して他人事ではないのです。

すべての子どもの子ども時代を守るために―。セーブ・ザ・チルドレンは日本を含む各国の政府に対し、子どもたちへの公的支出を増やし、子ども時代を守るための法整備を行うことなどを求め、働きかけを続けています。

*1：総務省統計局人口推計平成27年年齢各歳別人口より *2：相対的貧困率。厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」より *3：2017年厚生労働省発表速報値


学齢期の子どもの
6人に1人が、
学校に通えていません。


5秒に1人、命を落とす
5才未満の子ども。
その原因の多くは
防げるものです。


奪われた子ども時代
世界では、
毎日200人の
少年・少女が、
殺人の被害に
遭っています。


世界では、
80人に1人の子どもが、
紛争で住む家を追われ
避難しています。

世界では7億人の子どもが、子ども時代を奪われていますー


世界では、
7秒に1人、15歳未満の
少女が結婚しています。


5歳未満の子どもの
およそ4人に1人は
栄養不良の状態に
あります。


世界では、
2秒に1人、少女が
出産しています。


世界では、
1億6,800万人の
子どもが、児童労働に
従事しています。

PARTNERSHIP INFORMATION

Interview

食に関わる企業ならではの社会貢献活動を。

ヴィア グループ
株式会社ヴィア・ホールディングス
常勤監査役　伊藤 誠 様
奈良岡 博史 様



健康・食糧・環境の課題に取り組む

全国で飲食店を展開する企業として、2010年より、食から地球と人を考える「ヒューマン・アース・プロジェクト」を実施しています。健康と環境に配慮した「ベジメニュー」などの対象商品の売り上げの一部を、セーブ・ザ・チルドレンが行っている活動に寄付するしくみです。これまでケニアやタンザニアの子どもたちの給食や栄養改善などの活動を支援してきました。セーブ・ザ・チルドレンの活動の中で、地域に根ざすしくみを作っていくという点に特に共感しています。

被災地の子どもたちを長期的に支えたい

また、東日本大震災を受け、お客様のご来店数と連動した寄付や募金箱などを通じた「私たちにできることプロジェクト2020」を、2011年から続けています。「被災した子どもたちが働く年齢になるまで支援したい」との思いから、10年間継続することを開始当初に決めました。寄付金は累計で1.4億円を超え、東北の被災地で子どもたちのために役立てられています。

活動を広く伝える

全国の店舗では、国内外の支援についてのポスターを掲示しています。東北の店舗の従業員が、お客様から「東北の支援をしているのね」と声をかけてもらい、とても嬉しかったと話していました。このような声が何よりも励みになります。これからも、食の事業を展開する企業としての社会貢献活動に取り組んでいきます。



Information

いのちをつなぐ
SARAYA



南スーダン難民の子どもたちに衛生的な環境を届けたい。

サラヤ株式会社には、無添加せっけんに天然ハーブを配合した「アラウ.」「アラウ.ベビー」の売り上げの一部を、ウガンダでの南スーダン難民支援事業にご支援いただいています。世界の子どもたちの衛生環境が良くなるように、との願いがこもったご寄付は、難民居住区の診療所における衛生向上などに役立てられています。

ヤマダイ株式会社



経営理念に基づき子どもの権利の実現に貢献。

茨城県結城郡を拠点とする食品メーカーのヤマダイ株式会社には、2017年2月より日本をはじめ世界の子どもたちへのご支援をいただいています。同社は経営理念として「真摯な姿勢・価値の創造・社会への貢献」を掲げ、ホームページや商品紹介パンフレットの中で、セーブ・ザ・チルドレンの理念への賛同を表明していただいています。

SHOE REPAIR & KEY SHOP
クツショウテン



靴修理の売り上げから世界と日本の子どもたちを支援。

関東・関西・九州で、靴修理と合鍵・シリンダー交換・カバン修理の店舗を展開する株式会社靴商店インターナショナルには、靴の修理による売り上げの一部をご寄付いただいています。子どもたちの健やかな未来を想い、世界と日本の子どもたちへの支援活動を広くサポートいただいています。

スタッフの一日　ミャンマー駐在員　大場 寛之



紛争後のミャンマー南東部・カレン州で、暴力や搾取などの危機にさらされている子どもの保護を強化する支援を担当しています。



ミャンマーってどんな所？

タイやインド、中国などと国境を接する国。130を超える民族が暮らすと言われます。長年にわたった内戦の影響が残る地域があるほか、今も戦闘が続いている地域も。上の写真ではいているのはロンジーという伝統的な服で、民族ごとに柄の特徴があります。

出勤　08:00

学習支援ボランティアの研修　09:15

学校に通えない子どもたちへ、読み書き・算数を教えるボランティア教員に、指導法の研修を実施。分かりやすい教え方について活発に意見を出し合います。



ミーティングで情報収集　13:30

ミャンマーでは政治経済などの社会情勢が変わりやすいため、情報収集がとても重要です。行政や、国連機関、他のNGOなどとの連携が欠かせません。



ワラゲー！（おはよう！）

私の勤務するパ・アン事務所の朝は、インターネットに接続できるかどうか、ドキドキしながら確認するところから始まります。

12:30　持ち寄りランチ@事務所

ステンレス製の丸い三段お弁当箱が一般的。皆で持ち寄ると、バラエティに富んだミャンマー風おかずが楽しめます。



18:00　帰宅

町の中心にある市場やスーパーで食料品をまとめ買いし、町はずれの自宅に帰ります。

海外事業報告会を開催しました

7月に東京と大阪で、海外事業報告会を開催しました。「子どもたちの今と未来を守る～難民支援の現場から」をテーマに、ウガンダとレバノンに駐在するスタッフがそれぞれの活動を報告。計100人を超える方々が参加し、「スタッフの現地での働きが良く分かった」などの感想をいただきました。今後もウェブやSNSなどさまざまな形で活動を伝えていきます。



レバノン駐在員 西口祐子、ウガンダ駐在員 不破麻理子

集めて、送って、気軽に支援

印刷を間違えて出せなかったり、買いすぎて余ったりしてしまった年賀はがきなど、未投函の官製はがきをセーブ・ザ・チルドレンにお送りいただくと、1枚45円の寄付に相当し、世界の子どもたちへの支援に役立てられます。同封の封筒でお送りください。



遺贈・相続・香典寄付のご案内

セーブ・ザ・チルドレンは皆さまからのご厚志を、教育や保健・栄養などの活動を通して、世界と日本の子どもたちに届けています。寄付プランをご紹介するパンフレットをお送りいたします。
以下までお気軽にご請求ください。
TEL:03-6859-0068（平日9:30~18:00）
legacy@savechildren.or.jp



9月1日は
防災の日

新聞紙でスリッパを作ってみよう！



災害に備えて、皆さんは日頃からどのような準備をしていますか？防災グッズや食料の備蓄、避難経路の確認も大切。では、実際に避難したあとに必要なことは？避難所で役立つ知識をひとつ紹介します。
避難所にたくさんの人が避難してきて、スリッパが足りません…。新聞紙でスリッパを作りましょう！

1 新聞紙1枚を折り筋に沿って、半分に折る。

※子どもの場合は、新聞紙半分のサイズで作ります。



2 新聞紙を床に置いて、輪になっている方にかかとを合わせ、輪になっていない方をつま先の方に折る。



3 折り曲げた方を2センチほど外側に折り返す。



4 裏返して、折っていない面を表に横長にして置き、左右半分に折って折り筋をつける。



5 左右中央まで、右側と左側から折る。



6 左側の袋状になっている部分に、○と○の角が合うよう右側の上部を折り込む。



7 点線の部分を斜めに折って、内側に折り込む。



8 四つの角を内側に折り込む。





支援活動にご協力ください

あなたの気持ち、届けます。

出産や予防可能な病気で
幼い命が奪われることがないように一。
例えば約10,000円で、
ミャンマーの妊婦50人に安全出産キットを
提供することができます。



編集後記

「世界食料危機」特集の4ページでご紹介している栄養治療食は、どんな味がするのでしょう？撮影にあたり、賞味期限間近のものをスタッフで試食しました。味や質感はピーナツバターに近く、甘さの中に少し塩分を感じる味わいです。1袋で500kcalのエネルギーに。世界中で栄養不良の子どもたちを支えている治療食。おいしさがこころの栄養にもつながりますように。（編集担当：高橋）

＊表紙：栄養不良治療センターを訪れたケニアの母子　＊この冊子の印刷におきましては、協和オフセット印刷株式会社に多大なるご協力をいただきました。

Save the Children

セーブ・ザ・チルドレンは、日本を含む世界120ヶ国で子ども支援活動を行う、民間・非営利の国際NGOです。子どもの権利が実現された世界を目指し、約100年にわたり活動しています。

www.savechildren.or.jp
セーブザチルドレン　検索

Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン ニュースレター No.71 2017年9月発行 発行元：公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-8-4 山田ビル4F ご支援に関するお問い合わせ：03-6859-0068（平日9:30～18:00）